



5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞り者、財産の災害や火災の被害を軽減する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が災害にそなえている割合(%) 火災発生件数(件)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	平成21年度事業の緊急経済対策により進捗した詰所水洗化工事は平成22年度の緊急経済対策事業もあって、残すところあと1カ所となった。第18分団統廃合は新築物件1カ所取壊し4カ所により完了した。消防団詰所の衛生管理は団員確保の一助となり適切なリストラは無理のない消防団運営の一助となった。		
	後期に向けた課題	残り1詰所の水洗化工事(川路大明神詰所)の実現と飯田市消防団第10次消防力(消防団)整備事業における本部機能を有する詰所建設2カ所の確実な履行が待たれる。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	緊急経済対策の活用により大幅な進捗が見られた。		
	後期に向けた課題	芦ノ口詰所の新築及び残り1カ所の水洗化未完の解決。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	水洗化工事及び解体工事等における指名見積りによる競争原理の導入と工事を段階化させることによる適切な現場管理によるコスト削減。		
	後期に向けた課題	詰所建設2カ所のコスト削減。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	適切。		
	後期に向けた課題	詰所建設2カ所については、地権者との協議が必要である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体は消防団、地域関係団体及び地域住民等であり、消防団詰所は消防団員の参集する場所として大切であり、市民及び市内滞り者の財産の災害や火災の被害を軽減する役割を果たした。 ②主体が役割を發揮するために、行政として適切なリストラを行い消防団の健全な運営に寄与し、詰所水洗化による衛生管理の向上により消防団員の福利厚生に寄与するよう配慮した。		
	後期に向けた課題	地域格差における消防団員の確保が困難であること。		
全体を通じて	4年間の振り返り	緊急経済対策の活用により大幅な進捗が見られた水洗化工事のほとんどと、行政主導による第18分団統廃合が具現化し分団運営の適正化が図られた。		
	後期に向けた課題	水洗化工事の残り1カ所と本部詰所における女性消防団員への配慮等の徹底。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------